

2022年度の入試分析 (関西編・私立大学)

リクルート進学総研
飯島隆介



Profile

飯島隆介

リクルート進学総研 研究員

株式会社リクルート入社後、主に首都圏、関西圏の大学の学生募集広報戦略の立案・遂行や、新增設改組、周年記念事業、ブランディング事業、キャンパス移転案件まで幅広く担当。
2021年度より、進学総研研究員を兼務。

0. はじめに
1. 昨年までに起きたこと
2. 今年の結果速報 – 全体
3. 今年の結果詳細 – 分野系統別
4. – 個別校状況
5. – 大学群別状況
6. – 年内入試を含めた考察
7. まとめ

2022年度入試分析速報 概要

- ✓ 集計対象は関西2府4県の私立56大学
- ✓ 一般入試・共通テスト利用入試の志願状況について、大学HPで公開された情報（前期・A日程）を基に、リクルート独自の観点で分析し、
(2022年2月18日段階 ※イブニング・二部等の志願者数は除く)
関西圏募集市場の概観をまとめています。
- ✓ なお、確定前のデータを一部含むため、最終結果と異なる場合があることをあらかじめご了承ください。

- 私立大学の定員管理厳格化→大規模大学の入学者調整→不合格者大幅増による受験生不安→滑り止め大学への出願増
この流れでいわゆる「併願バブル」が発生

2019年度まで増加し続けた志願者は、2020年度から減少へ一転

- 19年度→20年度は、
一般入試/センター試験利用入試/一般+センター利用型入試
の全ての方式で減少
- 20年度→21年度は、一般+共通テスト併用型入試が増加するも、
一般入試/共通テスト利用入試が10%以上減少

- 18歳人口が全国で2万人弱、関西2府4県で4600人強減少する中、
総志願者（延べ・一般入試と共通テスト利用入試の合計）は3%弱増加
- 一般＋共通テストの併用型入試が最も増加率高く、
次いで一般入試も増えたが、共通テスト利用入試は減少
- 2年連続の志願者減、特に20→21年度の13%強の大幅減から
下げ止まった今回

- 「法律・政治・政策」、「薬学・看護・医療技術・リハビリ」の**増加**と、「外国語(英語)」の**減少**が目立つ。
25系統中10系統が過去5年で最少の志願者数
- 10系統が2年連続**減少**で、2年連続増加した系統はなし。

法律・政治・政策系 ↑	工学・理工学系 ↑	教育 ↑
経済・経営・商学・経営情報系 ↓	理学(物理・数学・化学等)系 ↑	保育 ↑
社会・マスコミ系 ↑	農・生命・環境系 ↓	福祉 ↑
情報系(文系) ↓	獣医・水産・畜産 ↓	家政・生活 ↓
国際関係・観光 ↑	医学系 ↓	栄養 ↓
外国語系(英語) ↓	歯学系 –	表現・芸術系 ↑
外国語系(アジア・その他) ↓	薬学系 ↑	体育・健康系 ↑
文学・人文 ↓	看護系 ↑	教養・総合系 –
地理・歴史系 ↑	医療技術・リハビリ系 ↑	
心理・人間系 ↑		

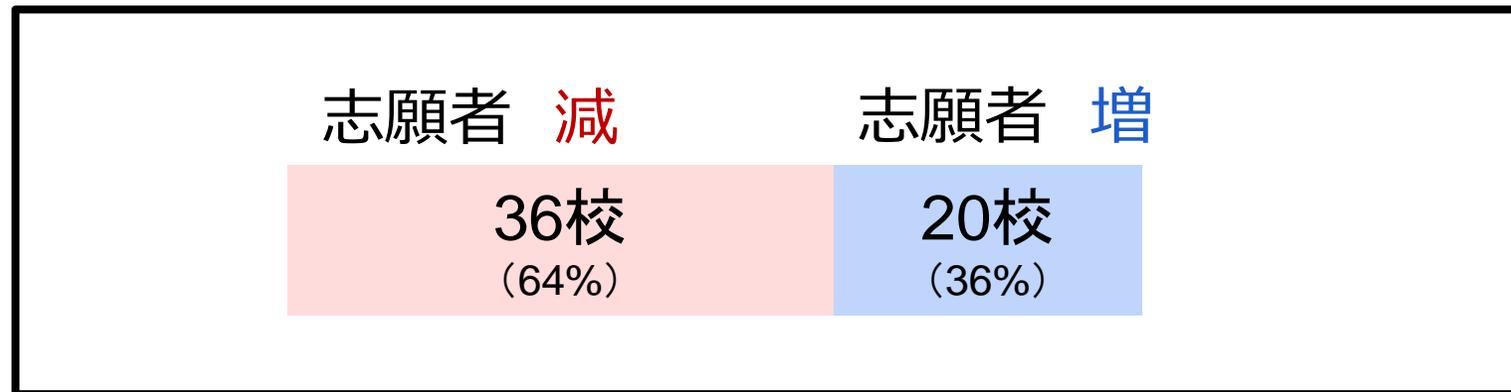
 前年よりUPした分野
 前年よりDOWNした分野
 赤字 2年連続DOWNした分野

● 集計対象56大学の志願者増減の状況は、

志願者**増加** 20校 (うち10~20%増 5校、20~30%増 1校、30%~増 6校)

志願者**減少** 36校 (うち10~20%減 5校、20~30%減 9校、30%~減 8校)

→全体が下げ止まった中でも、個別校毎にバラつきが出た今回



- 昨対で減少した校数は多かったが、一方で高難易度校で高い増加率が目立ち、関西圏全体を押し上げた。



		減少計 16,086人		増加計 32,931人		
			関西大学	同志社大学	立命館大学	関西学院大学
	京都産業大学	龍谷大学	甲南大学	近畿大学		
摂南大学	桃山学院大学	神戸学院大学	大阪経済大学	追手門学院大学		
	武庫川女子大学	京都女子大学	同志社女子大学			
		大阪工業大学	大阪電気通信大学			

- 年内入試（総合型選抜、学校推薦型選抜）の志願者数と合格者数を公表している大学40校で、志願者数5%弱の増加に対し、合格者数は20%強の12000人強増加
- 18歳人口減少、浪人生の減少の影響以上に、「年内入試で入学先を決めて、年明け入試を受験しなかった」「年内入試で入学先を確保し、年明け入試の受験校数を減らした」という受験生の動向が、年明け入試の中堅校での志願者が伸び切らない影響と推察

- 2019→2020/2020→2021で減少したが、今年は微増
- 増加校数<減少校数、共通テストの難化もあり、高難易度校での志願者が増加
- 系統別には「法律・政治・政策」「工学」「理学」の増加、「経済・経営」「外国語(英語)」「家政」「栄養」の減少が目立つ。
- 年内の総合型選抜+学校推薦型選抜は、志願者増以上に合格者が増加
- 年内受験で合格先を確保した受験生が、年明けは滑り止め受験を減らした可能性あり。
- 英語外部検定利用入試の導入校数と志願者が増加傾向



ご清聴 ありがとうございました。

高校・大学の取り組み事例等はHPに掲載しています。
分野別データ等、詳細結果につきましては、営業担当までお問い合わせください。

リクルート進学総研

